

→ **サステナビリティ推進体制** イニシアチブへの賛同 社外からの評価

サステナビリティ委員会の設置

JFRグループは、2019年3月、ESGの重要課題への対応を通じたサステナビリティ経営をグループ全社で横断的に推進するため、サステナビリティ委員会を設置しました。この委員会は、リスクマネジメント委員会・コンプライアンス委員会と並ぶ、代表執行役社長直轄の諮問委員会と位置づけ、半期に一度開催し、5つのマテリアリティについて、各事業会社の実行計画策定と進捗モニタリングを行っています。また当社の取締役会ではサステナビリティ委員会で論議された内容の報告を受け、ESG課題への長期目標や取り組み進捗についての論議・監督を行っています。



第2回サステナビリティ委員会の様子

構成メンバー

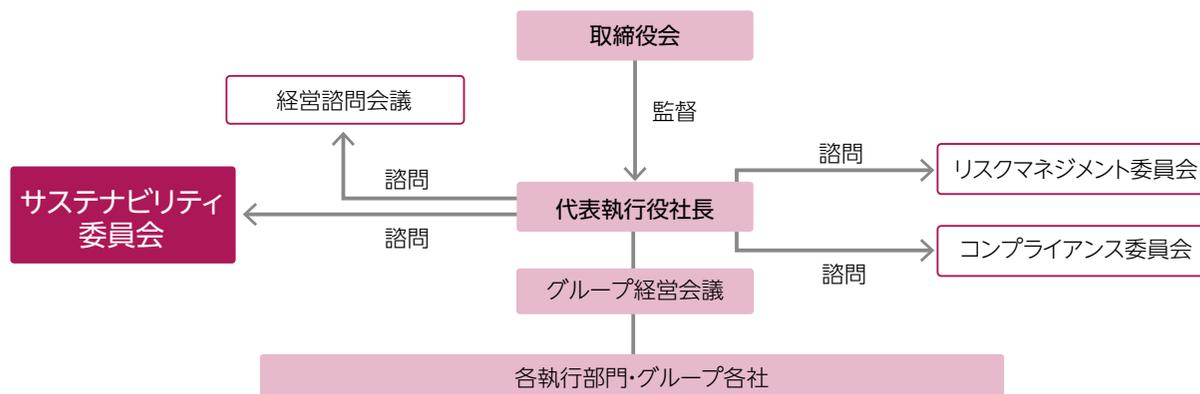
- 委員長：取締役兼代表執行役社長
- 委員：JFRの事業統括部長5名、事業会社社長11名の計16名
- 事務局長：経営戦略統括部長

位置づけ

代表執行役社長直轄の諮問委員会であり、JFRグループ内のサステナビリティに関する方針策定、戦略策定、長期計画策定とモニタリングについて最終責任を担う

主な活動内容

- サステナビリティ経営を推進するにあたりJFRグループ全体に必要な方針策定
- 気候変動対応を含むマテリアリティに関する長期計画とKGI/KPIの進捗確認
- 各事業会社におけるESGへの取り組みについての論議、モニタリング
- 有識者との対話を実施し、ESGにおける最新の知見を共有化



→ **サステナビリティ推進体制** [イニシアチブへの賛同](#) [社外からの評価](#)

各事業会社のESG推進体制

各事業会社では、社長を推進責任者とする体制をとっています。

また、グループ全体のコントロール機能としてJFRコーポレート部門は、各事業会社のESG委員会や会議に参加するなど、連携をとりながらESG実行計画のモニタリングを進めています。2019年3月に開催した第1回サステナビリティ委員会では、各事業会社の特性に応じたサステナビリティ経営の実現に向けた優先課題についての2019年度の目標設定と具体的な取り組み策について共有しました。また、同年9月に開催した第2回サステナビリティ委員会では、2020年度の事業会社の温室効果ガス削減目標についての論議と各社のESG実行計画の進捗について確認しました。



※各事業会社では、社長を推進責任者とする体制をとっています。

JFR ESG推進部の設置

JFRグループは、企業が持続可能な成長をしていくため、ESG課題への取り組みの重要度が増している中、企業が事業を通じて社会的課題に主体的に取り組み、社会に対して価値を創造することが持続可能な企業の成長につながると考えています。当社グループではESG課題への取り組みを成長戦略と位置づけ、スピードをあげて実行していくために、2018年3月、経営戦略統括部内にESG推進部を設置しました。

ESG推進部は、経営企画・人財政策部をはじめとする事業統括部門や事業会社と連携をはかり、JFRグループのサステナビリティに関する方針や戦略の策定を行っています。

またグループの一人ひとりが事業活動を通じたESG課題への取り組みを自分ごととして捉え、取り組むために様々な社内浸透をはかるとともに、当社が考えるサステナビリティ経営についての考え方を社外へ積極的に開示しています。

今後もステークホルダーの皆様へ理解・共感をいただくために積極的な働きかけや対話を通じ、ともに新しい価値協創につなげることで、持続可能な企業価値の向上をはかっていきます。

→ **サステナビリティ推進体制** イニシアチブへの賛同 社外からの評価

サステナビリティ経営についての社内浸透

JFRグループでは、ESGへの取り組みについて研修、社内報、社内サイト等を通じた従業員への浸透を積極的に行っています。

当社グループの部長研修・マネジメントライン研修などの社内研修の場や事業会社ごとに、経営トップ自らESGの取り組みの背景や重要性について説明を行うことで社内浸透につなげています。

また、2019年5月には全従業員がESGの取り組みを推進するうえで必要となる、基本情報を記載した社内報『ESG特集号』をグループ全社の従業員に向けて発行しました。これは、従業員一人ひとりが自分ごと化につなげるため、ESG課題への意識向上と事業を通じた社会課題の解決の考え方について理解・共感を得ることを目的に作成しました。

さらに、同年9月にはESG専門の社内サイトを開設し、社内外のESG情報をタイムリーに伝えるツールとして活用しています。サイト内には、事業を通じて社会課題の解決に貢献するための考え方やヒントを掲載し、SNSでは各事業会社の従業員と双方向に情報共有を行っています。

●従業員向けESG特集号



●経営による説明会



●従業員向けESGサイト



トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み社外取締役
メッセージ

ガバナンス

データ集

→ サステナビリティ推進体制 イニシアチブへの賛同 社外からの評価

ESG説明会の実施

JFRグループは、2017年から統合報告書を発行し、財務情報、非財務情報の開示に努めています。また、毎年、社長自ら国内外の投資家と、当社グループのサステナビリティについて積極的な対話を行っています。

また、2018年から「ESG説明会」を年に一度開催し、サステナビリティに関する方向性をはじめ、長期目標や具体的な取り組み進捗について報告し、質疑応答のなかで投資家との直接対話を行っています。2018年度56名、2019年度59名に出席いただきました。

今後については、より多くのステークホルダーに当社グループのサステナビリティ経営に関する情報を豊富に掲載したレポートやウェブサイトでの情報開示に積極的に取り組みます。

WEB → ESG説明会



第2回ESG説明会

第1回ESG説明会 2018年11月30日開催

内容

①サステナブルな社会創造に向けて

説明者:取締役兼代表執行役社長
山本 良一

第2回ESG説明会 2019年11月19日開催

内容

①JFRグループのESGへの考え方

説明者:取締役兼代表執行役社長
山本 良一

②5つのマテリアリティの1年間の活動内容

説明者:執行役常務 経営戦略統括部長
兼リスク管理担当
澤田 太郎

③社外取締役からみたJFRの現況と期待

説明者:社外取締役
指名委員会委員長 報酬委員会委員
橋・フクシマ・咲江

投資家の皆様からの主な質問内容

- サプライチェーンにおける温室効果ガス (Scope3)削減や労働環境改善などのモニタリングなど、お取引先様等への関与について
- イノベーションの創出のため新たな取り組みに挑戦していくにあたっての“非連続な成長”と“客観性・透明性を確保する経営人財の選任”のバランスの両立について
- マテリアリティの目標設定において2050年および2030年、また2025年目標があるが、目標設定の考え方について
- ESGの取り組みに関する社内浸透・共有について
- リスクとして捉えるESGに対し、CSV視点でのESGのリターンの考え方について
- 5つのマテリアリティにおける優先順位の考え方について
- 5つのマテリアリティを設定して1年間の活動の成果と課題について
- 取締役会と経営諮問会議との役割分担と経営諮問会議が取締役会に与える影響について
- 取締役会の透明性・公平性・活発性におけるレベル感について
- 指名委員会は経営人財の育成にも関わっているが、特に重視していることについて